

米国の小児環境保健コホート調査からわかること



In English

司会 戸高恵美子：予防医学センター教授

環境省は、胎児期および小児期の環境要因、特に化学物質へのばく露が子どもの健康や発達にどのような影響を与えるのかを明らかにすることを目的とした大規模出生コホート調査「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」を2011年から開始した。全国の約10万組の母児と約半数の父親が参加し、子どもたちが40歳程度になるまで継続する計画である。(詳細：

エコチル調査HP <https://www.env.go.jp/chemi/ceh/>) 一方、アメリカでの MARBLES (Markers of Autism Risk in Babies: Learning Early Signs) 研究は、自閉症スペクトラム障害 (ASD) の児の弟妹に関する前向きコホートとして2006年に始まった。550人以上の妊婦を登録し、妊娠中、出産時、出生後のフォローアップ中に定期的に28,000を超える生物学のおよび環境標本を収集し、環境曝露、病歴、食事、ライフスタイルに関する包括的なデータを取得し、メチル化、発現、免疫、栄養素、および汚染物質マーカーを測定する。また、US National ECHO (Environmental influences on Children's Health Outcomes) Program は、米国立衛生研究所が資金提供する大規模なコホート研究であり、周産期、呼吸器、肥満、神経発達、および小児のより良い健康に焦点を当てて50,000人以上の小児を登録する予定である。今回、MARBLESとECHOを担当しているカリフォルニア大学のRebecca Schmidt教授をお招きしオンライン講演会を開催する。

講師：Rebecca J. Schmidt, Ph.D

Professor Schmidt is a tenured professor and molecular epidemiologist in the Department of Public Health Sciences and the MIND Institute at the University of California Davis School of Medicine, affiliated with the Perinatal Origins of Disparities (POD) Center and the Environmental Health Sciences Center.



2024 **12/9** 参加無料 | 事前申込不要 学内・学外を問わずご参加いただけます
月 17:00 ▶ 18:00

Zoomによる
オンライン開催

<https://us02web.zoom.us/j/84934974708?pwd=bbFaX4lt6cNti92JFjRheE12jZblj.1>
ミーティングID: 849 3497 4708 パスコード: 615093

